

(別紙3)

企業内支援体制の整備状況等確認書（記入例）

事業所名：  
担当者名：  
連絡先電話番号：

1 障害者職業生活相談員の選任状況

選任している      選任していない      （どちらか該当する方を○で囲んで下さい。）

※ 選任している場合は、ハローワークに提出した選任届の写し等、そのことが確認できる書類を添付して下さい。

2 障害者職場定着推進チーム、ジョブコーチ等による支援の状況をお書き下さい。

- ・企業在籍型のジョブコーチの資格を有する管理職が障害者職場定着推進チームに参加し、障害者の就労状況や体調を日々把握するとともに、その希望に応じて個別の相談に応じている（職場定着推進チームの要項を添付）。
- ・障害者職場定着推進チームのメンバーである○人の精神保健福祉士等が、障害者が職場定着する上での課題や対応（○○、○○等）について、職場の上長に助言を行っている。

3 外部の支援機関や医療機関等との連携状況について具体的にお書き下さい。

- ・障害者の休みが多くなった等、職場定着に問題が生じたときは、その都度当該障害者の出身元の就労移行支援事業所に相談している。就労移行支援事業所からは、○○といった助言、指導を受けている。
- ・障害者が常用雇用に移行した後も、出身元の就労移行支援事業所に毎月訪問してもらい、障害者と面談した結果を○○により情報提供してもらっている。
- ・障害者職業センターのカウンセラーと相談しながら、個々の障害者ごとに支援計画を策定し、職域の拡大に努めている（支援計画の例を添付）。具体的な職域拡大の例としては、・・・・・・といったようなことがある。
- ・精神障害者が調子を崩して主治医にかかるときは、本人や主治医の了解を得て、職場の上長が同行するようにしている。その際、主治医からは、・・・・・・といったアドバイスを受けている。

4 障害者雇用に関する社会貢献について、直近1年間においていつ何を行ったか具体的にお書き下さい。

- ・障害者雇用を検討している同業種の企業関係者による事業所見学の受け入れ（○年○月、対象者は○人）
- ・特別支援学校からの実習生の受け入れ（○年○月及び○月、受け入れ人数はそれぞれ○人と○人）

・労働局主催の障害者雇用セミナーへの講師派遣（〇年〇月、対象者は〇〇人）。

※ 実績が多いときは主なものを記入して下さい。